

家庭でも、 感染しない、感染させない。

—— 感染防止策を万全にして ——

こまめに
手洗いをする



タオルや歯みがきの
コップなどは
共有しない



大皿料理は避け、
一人分ずつ
盛り付ける



ドアノブや
電気のスイッチなどは
こまめに消毒する



定期的に換気をする



目、口、鼻などウイルスが
入る部位をできるだけ
触れないようにする



会話をする時は
家でもマスク



【高齢の方の感染予防】

対面では
長時間話さない



【高齢の方の感染予防】

外出時は、
虹のステッカーの
お店で!



学校では、感染を防ぐための対策を行っています

児童・生徒のみなさんが安心して登校できるように、以下の取組を実施します

教室に入る前に**健康チェック**

- 健康観察票を確認
- サーモグラフィなどを使った検温



身体的距離（1～2m）の確保

- 列ができそうな場所には、立ち位置をマーキング



よく手を触れる場所の**消毒**

- ドアノブ、スイッチ、手すり、窓わくなどを1日1回以上消毒



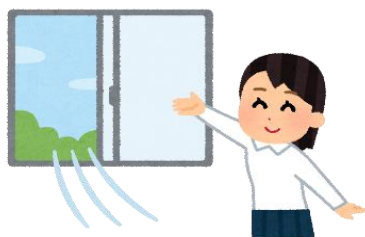
校内放送などで**注意喚起**

- 休み時間の後や、給食前の手洗い
- 定期的な換気の呼びかけ



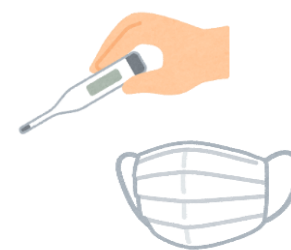
十分な**換気**の実施

- 教室のドアは常時開放
- 30分に一度は窓も開放



教職員の健康管理

- 教職員も出勤前に毎朝検温
- 学校にいる間はマスク着用



こんなときは…

学校で感染症が疑われる症状が見られた場合は、別室等で対応します。また、教職員等は、マスクやゴム手袋、フェイスシールドなどの感染症対策をとって対応します。ご理解をお願いします。



部活動を安全に行うために気を付けましょう



体調管理を行いましょ

- ▶ 熱っぽいときやかぜ気味のときは、無理して参加せず休みましょ。



手洗いを徹底しましょ

- ▶ 部活動の開始前・終了後は、正しい方法で手を洗いましょ。



活動場所の換気を行いましょ

- ▶ 30分に一度は窓を開け、空気を入れ換えましょ。



楽器や用具等は消毒しましょ

- ▶ 生徒間での使い回しはできるだけ避け、使う前に消毒しましょ。



部室や更衣室での「3密」を防ぎましょ

- ▶ 少人数で短時間使用し、換気をしましょ。



熱中症を予防しましょ

- ▶ 水分・塩分を補給しましょ。適宜、涼しいところで休憩しましょ。

顧問の先生方へ

- ・ 新型コロナウイルス感染症予防に配慮して、安全を最優先した活動計画を作成しましょ。
- ・ 生徒の体力や健康、技能等の状況を踏まえて、活動日・活動時間・活動内容を見直しましょ。
- ・ 運動不足の生徒がいることが考えられるため、けが防止に十分配慮しましょ。
- ・ 体が暑さに慣れていない状態で、暑くなり始める時期を迎えるため、熱中症事故防止を徹底しましょ。

感染を予防し、部活動を安全に行うために



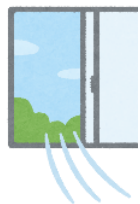
活動前の体調管理

熱っぽいときやかぜ気味のときは、無理して参加せず休みましょう。



手洗いの徹底

部活動の開始前・終了後は、正しい方法で手を洗いましょう。



活動場所の換気

体育館や教室等の屋内では、30分に一度は窓を開け換気しましょう。



楽器や用具等の消毒

使い回しはできるだけ避けて、使用前に消毒しましょう。

NG!



「3密」の防止

更衣室や部室は、少人数で短時間使用し、定期的に換気しましょう。



熱中症の予防

水分・塩分を補給しましょう。涼しいところで適宜休憩しましょう。

顧問の先生方へ

- ・部活動においては、**各団体によるガイドラインを遵守**し、感染症対策を徹底しましょう。
- ・新型コロナウイルス感染症予防に配慮して、**安全を最優先した活動計画**を作成しましょう。
- ・生徒の体力や健康、技能等の状況を踏まえて、**活動日・活動時間・活動内容**を見直しましょう。
- ・マスクを外す場合は、**互いの距離を2 m以上確保する**とともに、**不必要な会話や発声を行わない**ようにしましょう。

感染症予防のために ～感染症の再拡大を見据えて～

新型コロナウイルス感染症の再拡大を見据えて、保護者の皆様も含めて、子供たち一人一人が感染拡大を防止する習慣を継続していくことが必要です。

～保護者の皆様にご協力いただきたいこと～

ご家庭で一緒に行う感染症対策

- 「3つの密」の回避
- 正しい手洗い
- 咳エチケットの徹底
- 毎朝の検温、健康チェック



- 児童・生徒等の感染は、家庭内感染であることが多いと言われています。
- 感染症対策においては一人一人の行動が、自分の命を、家族を、大切な人を守ることに繋がります。



もし、ご家族に37℃以上の熱やせきなどの風邪症状がある方がいる場合は、

お子様を自宅で休養させてください。
(この場合は、欠席ではなく出席停止の扱いとなります。)